

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・当法人の運営規定の中に、事業目的・運営方針が記載されている。その運営規定を皆が見られるところに提示し、共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・福祉事業は法令に則った事業経営により収入をえているため、施設長や職員は法令を理解し遵守する必要がある。そのため、法令遵守に関する教育を徹底する体制を整備している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・職員一人ひとりに、不正な競争を防ぐために、3回/年、職員向けの勉強会を実施している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事業活動が、環境に与える影響を、各職員が把握し、環境負荷の低減に取り組んでいる。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・職員会議等で、知的財産に関する研修をし、理解を深めている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・就業規則にも個人情報の漏洩禁止を明記し、職員への連絡事項、利用者の方の個人情報を使用する場合は、外部への情報漏洩が無いよう注意を促している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・福祉事業所の為、事業所内に利用者からの意見や要望を聞く意見箱を設置している。利用者から意見や要望があればその都度対応している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・洪水時の避難確保計画を作成し、管轄の市に計画書を提出し、1回/年の避難訓練や見直しを行っている。 ・令和5年12月にBCPを策定している。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・理事に、事業継続のために必要な研修を受講させている。 ・商工会議所等で行われる、自社の継続・発展のための事業継続にかかる講座を受講している。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則(第3章 服務規程)に、各ハラスメントの禁止事項を定めている。 ・就業規則内容に基づき、職場秩序の維持に務めるよう意識づけを行っている。 ・虐待チェックリストの記入で、自己点検し意識の向上を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則(第8章 安全衛生及び災害補償)に遵守項目を定め、確認周知を行っている。 ・人間ドックの受診の際には、助成を行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員(正職員・パート職員)ともに、各種手当、賞与等、適切な対応をしている。 ・(同一労働・同一賃金ガイドライン)を理解し、整備・運営を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業規則(第4章 労働時間)に、勤務時間/休憩時間を定めており、就業規則に沿った勤務環境を構築している。 ・日々の勤務時間は、管理者にて確認し過度の残業などが発生していないかの管理を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・年間の研修計画に基づき、1回/月の頻度で社内研修を行っている。 ・社外研修については、意欲的に受講するように促し推進している。 ・Zoomによる社外研修を見つけて、受講出来るよう配慮している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・職員/利用者全員の、朝一の体温チェック管理を行っている。 ・毎日の朝礼/終礼にて、夏場の水分補給や手洗い/うがいの徹底について声掛けしている。 ・コロナワクチン接種は、強制ではないが個人管理を行っている。(誰が、いつ接種したか) ・人間ドックの受診の際には、助成を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・就労継続支援事業で、障がい者の方20数名が利用中である。 ・業務運営や昇進・昇格等に、性別、年齢などの違いによる差別的待遇はない。 ・【職員総人数 9名 男性5名 女性4名 うち高齢者1名】				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・送迎中は、車に乗車する前に検温を行っている。 ・事業所における感染症対策として、検温・アルコール消毒・手洗い・定期的な窓開けをしている。 ・Zoom等(web)での研修や会議を、積極的に行っている。 ・職員の時差出勤を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12					
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12						

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：一般社団法人 七草会			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミ出しルールに沿って、燃えるゴミ、燃えないゴミ、リサイクル等の分別を徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業所内の照明設備は、すべてLED照明に交換している。 ・日が当たる窓には、ブラインドなどの取付をしている。 ・利用していない作業室のこまめなスイッチoffをしている。 ・社用車(送迎車)は、すべて新車としている(co2排出軽減の為)。 ・簡易計算シートを用いて、エネルギー使用料を把握している。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車(送迎車)を、新車としCO2排出軽減に取り組んでいる。 ・簡易計算シートを用いて、温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・雲丹(ウニ)を乗せる木箱を制作し出荷しているが、釘などの金属は使用せずに加工している。 ・原材料についても、地産地消の推進で、地元の森林組合からの協力のもと、間伐材を板加工されたものを使用している。 ・材料加工中に出た、のこくずを地元の酪農家で牛の寝床として、利用してもらっている。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピーをミスした用紙については、裏紙利用入れを、コピー機の横に設置し再利用を推進している。 ・クラウド上で管理できる業務(データ)に関しては、ペーパーレス化してコピー用紙の削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・障がい者就労施設なので、手に力が入りづらい方でも、蛇口の開閉が容易に出来る様に仕様を変更しているが、完全に閉まっていない状態にならない様に『節水』に特に注意している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・海洋プラスチックゴミ問題で、ウニ箱をプラスチックの入れ物から、県産材を使った木箱の入れ物へと替える取組みを進めており、その木箱を製造している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・五木村森林組合の熊本県産材(間伐材)を利用し、ウニ箱を制作している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ウニ箱のプラスチック容器に代えて、熊本県産材を使用した木箱を山口県漁港に使ってもらい、海洋汚染の防止に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：一般社団法人 七草会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類

No.

チェック項目

基本

チャレン
ジ

具体的な取組み
(※事業者が記載する欄)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

製品・サービス

37

【製品・サービスの安全性と品質】
・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。

●

・1回/月の職員会議にて、懸案事項を洗い出し、対策内容を検討し対策を実施している。
・事業所内に『意見箱』を設置し、誰でも意見/要望を書き込めるようにし、改善が出来るように取り組んでいる。

3.9

9

12.4

38

【ユニバーサルデザイン】
・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。

●

・障がい者の方が、作業しやすい治具を作成している。
・障がい者/高齢者が快適に利用出来るように、玄関にはスロープを設置している。
・トイレ入口やトイレの中等に、手すりを設置している。

9.1

10

11.7

17

39

【地域資源】
・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。

●

・五木村森林組合と連携して、県産材を利用し、ウニ箱を制作し販売している。

2.3
2.4

7.3

8

9

11.a

12.3

13

14

15

17

40

【木質化の取組み】
・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。

●

7

12.2

13.1

15

41

【社会課題解決】
・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。

●

・ひきこもりの社会問題で、社会福祉協議会、相談委員さんらと協力し、ひきこもりの方が一歩でも社会に出て来られるよう、取り組んでいる。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

42

【攻めの農林水産業】
・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。

●

2.3
2.4

8.2

9.2
9.4

11.a

12.2

14

15

17

持続可能な社会・地方創生

43

【地域への参画】
・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

●

・各々の職員は、移住地域の活動(草刈り)等に積極的に参加し、コミュニケーションを取っている。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

44

【防災、減災、レジリエンス(自助)】
・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。

●

・年に1回、行政と連携した避難訓練を行っている。
・洪水時の避難確保計画を作成し、市役所に提出している。(洪水ハザードマップ記載)

4

11.5

13.1

16

45

【防災、減災、レジリエンス(共助)】
・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。

●

1.5

3

4

10.2

11.5

13.1

16

17

46

【防災関連商品の開発・販売】
・防災関連商品の開発・販売を促進している。

●

9

11

12

13.1

47

【SDGsの普及啓発】
・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。

●

・社内で、エコマーク・グリーン購入法適合商品の購入促進とペーパーレス化に取り組み普及啓発している。
・取引先に県産材のウニ箱を使ってもらうことで、海洋プラスチックゴミ削減の重要性に気づいてもらい、「海の豊かさを守ろう」をはじめとする、SDGsの考えの普及啓発を行っている。
・障がい者や難病を持つ人などが、社会参加出来るように、働くための場を提供している。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

48

【インターンシップ等の受入れ】
・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。

●

・施設の、体験や見学等を積極的に受け入れている。
・熊本県支援学校の生徒さんの、現場実習を行っている。

4

8.6

10.2

17

49

【若者の地元定着等】
・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。

●

4.4

8.5
8.6

17

50

【農林水産業の担い手確保】
・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。

●

2

4.3
4.4
4.5

8.6

10.2

12

13

14

15

17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。

・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3